# **タイトル中央揃えフォントサイズ14ポイント**

# **―サブタイトルは改行して中央揃え―**

# 名字 名前

# 所属先　研究室名

# **1. はじめに**

# このテンプレートは教職教育研究に投稿する実践報告・その他に使用するものである。投稿原稿は和文の場合にはこのテンプレートに従い執筆する。ヘッダーにある実践報告/その他はどちらかを消し，（　）とその中の文字も全て消すこと。

# **1.1 タイトルの書き方**

　実践報告（授業実践，教材・教具の開発等の教育実践活動に関する報告）または　その他（教職課程における活動報告，教職に関わる研修会・講演会等の報告，資料紹介，書評，学生の活動報告等）のうち，原稿の種類がわかるような明示的なタイトルをつけること。

タイトルは，サブタイトルがある場合，前後をダッシュ「―」で挟む。

# **1.2 所属の書き方**

所属は所属先と研究室名を記載する。著者が複数いる場合は，以下のように記入する。

松藤薫子1・野瀬出2・畠山仁3

1 日本獣医生命科学大学　英語学研究室

2 日本獣医生命科学大学　比較発達心理学研究室

3 日本獣医生命科学大学　 比較細胞生物学研究室

非常勤の場合は（非）などは記入しないこと。教職課程の非常勤講師の所属は，現職の中高の教員の場合，所属学校名を，所属が無い場合は「日本獣医生命科学大学　教職課程」と記入する。

# **1.3 書式注意点**

# 本文の太字，余白，文字フォント，インデントなど，すべての設定をこのテンプレートに従い変更しないこと。特に，別ファイルで用意した原稿を貼付ける場合には，形式が変更されないように注意する。

# 使用する書体は，原則として和文の場合「明朝体」，英文の場合「Times (New Roman)」とする。文字の大きさは和文の場合10.5ポイント，英文の場合12ポイントとし，1ページの行数を35行とする。和文の場合は1行40字とする。原稿の枚数は実践報告の場合は20枚以内，その他の場合は5枚以内とする。

# 日本語の句読点は，「，」と「。」にする。英数字には半角を使用し，全角は原則として使用しない。ページ番号はつけない（刊行物にて発刊する場合に表示される）。提出時に形式が守られていない場合には，提出を受け付けない場合や，書式不備がある場合には，編集委員会の判断で掲載を見送ることがある。

# **1.4 見出し（セクション）の番号の付け方**

　見出し（セクション）の番号の有無やつけ方は，著者の専門分野の慣例に従うものとし，共通の規則は定めない。

# **2. その他のガイドライン**

# **2.1 引用方法**

本文中での引用方法はAPAに基づく。和文の場合は前後の括弧を全角（）で記載する。英文の場合はすべて半角括弧 () となる。和文中引用の一例は（Abney, 2023; 井田, 2000）括弧内はアルファベット順で記載する。著者が2名の場合は，古田・吉田（2023）というように，間を中黒・で区切る。著者が3名以上の場合は，英語の場合と同様に，初出時点から第1著者名のみ表記し, 第2著者以降については表記せず，第１著者名他（年号）とする。

# **2.2 図表**

# 図表は本文中に入れ，通し番号をつけ, 図表のタイトル(キャプション)を記述する。表の番号とタイトルの位置は，著者の専門分野の慣例に従うものとし，共通の規則は定めない。

**2.3 注**

1. 注は脚注ではなく，本文と参考文献の間にまとめて記載する。

2. 本文中では「これは注釈の例1」というように右肩上付で注をつける。

**2.4 引用文献**

引用文献の書き方は，著者の専門分野の慣例に従うものとし，共通の規則は定めない。引用文献は本文で引用したもののみを英文・和文ともにアルファベット順で掲載する。